

パネル展「Viver! —ブラジルと一緒に—」
 在日ブラジル人コミュニティ 30 周年

ブラジルと中部地域の繋がりを知る写真展を開催

JICA 中部が運営するなごや地球ひろばでは、パネル展「Viver!—ブラジルと一緒に—」を開催いたします。愛知県は、在留外国人の数が東京に次いで全国 2 位であり、その中でもブラジル人が最も多く全体の 22.2%を占めています。そしてブラジルは、世界各地からの移民を受け入れた歴史を持つ多民族国家であり、世界で最も多くの日系人が暮らす国でもあります。

本パネル展では、多様性にあふれ、力強く生きるブラジルの人々の姿と、ブラジルと日本の繋がりを写真やパネルを通してご紹介いたします。「Viver」(ヴィヴェール)はポルトガル語で「生きる」「生存する」「暮らす」。コロナ禍により世界中が困難な状況下にある中、常に分かち合い、生きて行こう!というメッセージを発信します。



【展示内容】

ブラジルへの移住

日本人のブラジルへの移住の歴史について、当時の写真も交えご紹介

ブラジルの文化を知る

打楽器奏者であり、リオ市公式写真家の KTa☆brasil(ケイタブラジル)さんによる、ブラジルの文化紹介、リオのカーニバルの様子など躍動感あふれる写真、映像を展示。

(パネル展タイトル命名、写真、映像、文章提供:KTa☆brasil(ケイタブラジル))

ブラジルへの国際協力

JICA がブラジルで行っている 9 つのプロジェクトを紹介。

(日本式 KOBAN の普及、JICA × JAXA アマゾンの森林保全、JICA × 民間企業(株式会社シーエ

ンジ)の協力など)

JICA 海外協力隊の紹介

JICA 海外協力隊としてブラジルに派遣された隊員の活動を紹介。

愛知・岐阜・三重・静岡県との繋がり

中部地域で暮らすブラジルにルーツを持つ方々のライフストーリー等をご紹介。

2021年2月7日(日)にはパネル展と連動したイベントも開催

KTa☆brasil(ケイタブラジル)さんをゲストにお招きし、午前(一般向け)と午後(親子向け)の2部制のイベントを開催予定。サンバのリズムを体験しながら、音楽を切り口にブラジルを知るイベント。

是非この機会にご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。

【取材可能期間:開催期間中(12/9~3/7)】

なごや地球ひろばは、体験型で学べる展示スペース(体験ゾーン)、世界各国から仕入れたフェアトレードの食品や雑貨を購入できるフェアトレードショップ(買物ゾーン)、主に開発途上国の味が楽しめるグローバルなカフェレストラン(食のゾーン)、参加型イベントやセミナーなどを随時開催している活動ゾーンなどを備え、様々な体験を通して国際協力やSDGsについて楽しく学べる施設です。

【展示概要】

展示期間:2020年12月9日(水)~2021年3月7日(日)

開館時間:10:00-17:00(開館時間を短縮しています) 入場:無料

休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館日)、年末年始(12/28-1/4)、電気点検(1/9)、

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 吉田・後藤

TEL:052-533-0220(代表) e-mail:cbictpp@jica.go.jp